

2023年5月29日

各位

会社名	株式会社エクサウィザーズ
代表者名	代表取締役社長 春田 真 (コード番号：4259 東証グロース)
問合せ先	コーポレート統括部長 前川 智明 (Tel: 03-6453-0510)

企業情報に特化した検索エンジン「exaBase 企業検索」に、生成 AI 対応のサービスを開始

当社は、企業情報に特化した検索エンジン「exaBase 企業検索」に、生成 AI を活用した情報分析機能を提供することを発表します。米 OpenAI の生成 AI サービス「ChatGPT」を利用して、有価証券報告書から正確かつ新しい重要情報を抽出して文章化。対象の上場企業の経営戦略を簡潔に表示することで、適切かつ迅速な意思決定を支援します。

当社は AI の利活用により、日本企業全体の生産性向上のためのサービスやプロダクトを提供し、それらを通じて社会課題の解決を目指しています。

1. 事業の趣旨

この度、当社が提供している企業情報に特化した検索エンジン「exaBase 企業検索」に、米 OpenAI の生成 AI サービス「ChatGPT」を利用して、有価証券報告書から重要事項を抽出し、対象企業の経営戦略を簡潔に表示するサービスを開始します。

2. 新たな事業の概要

exaBase 企業検索は日本で登記されている約 400 万社・団体の情報を取得しており、スタートアップなどの非上場企業の情報まで網羅しています。エクサウィザーズが独自に開発した AI でビッグデータを処理することで、(1) 企業情報に特化した検索、(2) 一般的な分類に縛られない自由なキーワードでの検索、(3) 絞り込みや並び替え可能な一覧表示 といった 3 つの特徴を実現しました。

今回の ChatGPT 対応により提供する新機能は、国内約 3,900 社の上場企業の有価証券報告書が対象です。最新の同報告書の、①「財務状態と状況分析」、②「事業等のリスク」、③「経営上の重要な契約等」の 3 つのカテゴリの情報について ChatGPT がそれぞれ重要と考えられる 5 つのキーワードを抽出。簡潔に構成し直した箇条書きの文章として、対象企業の検索結果から参照できます。

当社の有価証券報告書の場合、「事業等のリスク」には約 4,000 文字の情報が掲載されています。これを ChatGPT を活用して処理することで、5 つのキーワードと 20～50 文字程度の簡潔な 10 の文章として再構成します。

エクサウィザーズは企業、金融機関、投資家の間の情報流通の高度化を AI によって支援し、日本経済の成長を目指しています。この達成に向け、IR 担当者の業務効率化と上場企業に求められる投資家への高品質な情報開示の実現を支援する企業 IR 部門向けサービス「exaBase IR アシスタント built with ChatGPT」(IR Tech) を 5 月 10 日に公表しており、今回発表した投資家・金融機関向けサービス (Research Tech) についても拡充していきます。

3. 事業の開始期日および売上計上セグメント

2023 年 6 月中にサービスを開始し、本事業の売上高は AI プロダクト事業に計上されます。

4. 当該事業開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点において特別に支出する予定はなく、通常の事業運営の中で進めてまいります。

5. 今後の見通し

現在精査中ですが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えています。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

(参考) 当期連結業績予想 (2023 年 5 月 11 日公表分) 及び前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益
当期連結業績予想 (2024 年 3 月期)	7,000	△370
前期連結実績 (2023 年 3 月期)	5,591	△378

以 上